令和4年度 伊達市経営に関する説明会議

問 秘書広報課広報広聴係 ☎575―1113

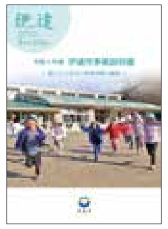
4月25日㈪～28日㈭、行政推進員会議に合わせて伊達市経営に関する説明会議を開催しました。

伊達市経営に関する説明会議は、令和4年度の重点施策を市長が行政推進員の皆さまに直接説明し、意見を伺うものです。

令和4年度は「未来躍進」と題し、夢のあるまちづくりを進める年と位置付け「安全・安心なまち」「農林業・商工業・観光のまち」「子育て・教育のまち」「健幸・福祉のまち」「移住・定住推進のまち」の5つを柱に事業を展開します。

委嘱状を受け取る行政推進員（霊山地域）

チェック
Check！



「伊達市事業説明書」は市政だより5月号（4月28日発行）とともに全戸に配布しています。

参加した行政推進員の皆さまから、さまざまなご意見をいただきました。ご意見の一部を掲載します。

■伊達橋の復旧

Q1 伊達橋付近に住んでいて、大正橋の迂回がこれほど不便なのかと感じます。北福島医療センター周辺のお店は閉店状態です。まちづくりには非常に重要な国道399号なので、復旧に向けて今後のスケジュールをお示しください。

A1 4月8日に国の権限代行で復旧することが決定し、県に確認したところ4月11日に国土交通省の道路担当が現地確認に入っているという情報をいただきました。現段階ではいつ、どうなると言える状況でないと伺っていますが、復旧の具体的な内容は国土交通省、福島県、伊達市で情報共有をしながら、しっかりと進めたいと思います。情報はホームページなどで皆さんにお知らせしたいと考えています。（建設部）

■梁川城址の観光

Q2 霊山と連携し、梁川城址公園を一大観光地にして、市外から人を呼び寄せて、伊達市の美味しい果物を食べてもらうような夢のある構想を出してほしいです。梁川城址公園の観光化へのご意見を伺います。

A2 堂庭遺跡、岩地蔵遺跡を伊達氏の梁川遺跡群と一体的に整備するために、国の史跡整備事業として今年度中に申請する段階です。国の史跡になっても、活用計画や整備計画を作る必要があり、本格的な整備に入るまでにしばらく時間がかかります。梁川城址周辺の保存活用を適切に進めながら、周遊の案内板などを整備し維持管理を進めたいと思います。（教育部）

梁川は伊達氏発祥の史跡が点在していますが、観光地としてもう少し磨いていく必要があると思っています。市役所以外の人の考えも入れて観光地を商品化させる、行ってみたいと思うように取り組んでいきたいと思います。（産業部）

■救急医療体制について

Q3 伊達市には総合病院がなく、救急病院の対応ができません。お医者さんがいない、専門医がいない中、将来的にお年寄りが多くなりますが、伊達市ではどう対処をするのか具体的にお聞かせください。

A3 現在、伊達市では2次医療圏の中で、藤田病院や福島市内の病院、医大などに救急車で搬送されています。専門医があまりいらっしゃらないのも事実ですので、課題を念頭に、今後の地域医療の進め方を協議をしているところです。まずは第2次医療圏という地域の中で、消防署との連携を取りながらしっかりと搬送ができる状況を取っていきたいと考えています。（健康福祉部）

■地域おこし支援員の配置

Q4 掛田自治協議会の中に活性化委員会を作っていますが、なかなか思うようにはいきません。地域おこし支援員で、特に商店街の活性化に携わる支援員を配置できませんか。自治協議会の中では地域活性化の機運が高まっています。支援員が配置されれば、タイアップして何かできるのではないかと思っています。

質問をする行政推進員（伊達地域）

A4 昨年、自治会にヒアリングした際にも、地域おこし支援員を配置して地域の活性化につなげてほしいとの声をいただき、新たな地域おこし支援員の制度の再構築を進めています。掛田はまちづくりの新しい会議を進めていると伺っていますので、全体のバランスを見ながら、市でも支援体制がとれる配置を検討してまいります。（未来政策部）

■ももの里マラソン大会

Q5 ももの里マラソン大会は有名で全国マラソン100選のコースにも選ばれています。ここ2年間はコロナで止めていますが、各地では大会が始まっています。県外に行くと伊達市はあまり知られていないので、ももの里マラソン大会を復活させて、人気をあげてほしいと思います。

質問をする行政推進員（月舘地域）

A5 一昨年はコロナの影響により中止、昨年はオンライン大会としてそれぞれの地域で走って、それを登録していただきました。今年は規模の縮小は考えていますが、実際の大会を運営しようと準備を進めているところです。ももの里マラソン大会は伊達市をPRする絶好の機会なので準備万端で進めたいと考えています。（教育部）

※掲載した写真と質問内容は必ずしも一致するものではありません。